

2022年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2021年8月13日

上場会社名 株式会社 平賀
 コード番号 7863
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 2021年8月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 URL <http://www.pp-hiraga.co.jp>
 (氏名) 中前 圭司
 (氏名) 上出 真太郎 TEL (03) 3991-4541

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第1四半期の業績 (2021年4月1日~2021年6月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	1,876	66.1	58	—	70	—	34	—
2021年3月期第1四半期	1,129	△48.3	△183	—	△174	—	△121	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	11.83	—
2021年3月期第1四半期	△41.73	—

(注)「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を当第1四半期会計期の期首から適用しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第1四半期	6,399	2,713	42.4	935.25
2021年3月期	7,037	2,691	38.2	927.34

(参考) 自己資本 2022年3月期第1四半期 2,713百万円 2021年3月期 2,691百万円

(注)「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を当第1四半期会計期の期首から適用しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2022年3月期	—				
2022年3月期(予想)		0.00	—	15.00	15.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の業績予想 (2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,700	26.7	140	—	150	—	80	—	27.52
通期	7,700	13.8	350	509.3	380	343.5	250	397.3	86.01

(注) 直近に公表されている業績からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(その他)に関する事項(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期1Q	4,015,585株	2021年3月期	4,015,585株
② 期末自己株式数	2022年3月期1Q	1,114,516株	2021年3月期	1,113,516株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期1Q	2,901,437株	2021年3月期1Q	2,909,692株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 業績予想などの将来予想情報に関する説明	P. 3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	P. 4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 4
3. 四半期財務諸表及び主な注記	P. 5
(1) 四半期貸借対照表	P. 5
(2) 四半期損益計算書	P. 7
第1四半期累計期間	P. 7
(3) 継続企業の前提に関する注記	P. 8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 8
(5) セグメント情報	P. 8
(6) 重要な後発事象	P. 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大による影響が長期化しており、7月に4度目の緊急事態宣言が再度発令されるなど、新型コロナウイルス感染症の収束時期が未だ見通せず、依然として予断を許さない状況が続いております。

当社を取り巻く環境におきましては、従前からの紙媒体による広告の縮小は更に進み、印刷関連業界を取り巻く経営環境は引き続き厳しい状況が続いております。

そのような状況の中、当社は営業部門におきまして、顧客ニーズや印刷市場の状況を的確に掴み、企画から印刷・納品までをすべて自社で行っている強みを活かしつつ、紙による媒体にとらわれず動画・WEB・LINE等のデジタル領域による販促施策を提案し、新規顧客の開拓と既存顧客への新商材開拓を進めてまいりました。

生産面につきましては、生産効率の更なる改善のため、設備投資を実施するとともに、営業部門・制作部門・生産部門との横断的な連携を強化し、外部流出コストの削減を進めてまいりました。さらに、資材・材料購入方法の見直し及び販管費の削減により経費構造の改善も進めてまいりました。

以上の結果から、当第1四半期累計期間の業績は、売上高は18億76百万円(前年同四半期比66.1%増)、営業利益は58百万円(前年同四半期は1億83百万円の営業損失)、経常利益は70百万円(前年同四半期は1億74百万円の経常損失)、四半期純利益は34百万円(前年同四半期は1億21百万円の四半期純損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産の残高は、38億80百万円(前事業年度末は46億20百万円)となり、前事業年度末と比べ7億39百万円減少いたしました。その主な要因といたしましては、受取手形及び売掛金が10億58百万円、現金及び預金が5億75百万円、未収入金が38百万円、仕掛品が27百万円減少したものの、受取手形、売掛金及び契約資産が9億67百万円増加したことによるものであります。

(固定資産)

当第1四半期会計期間末における固定資産の残高は、25億18百万円(前事業年度末は24億17百万円)となり、前事業年度末と比べ1億円増加いたしました。その主な要因といたしましては、投資有価証券が16百万円、その他に含まれている繰延税金資産が13百万円減少したものの、有形固定資産が1億22百万円増加したことによるものであります。

(流動負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債の残高は、27億44百万円(前事業年度末は34億14百万円)となり、前事業年度末と比べ6億69百万円減少いたしました。その主な要因といたしましては、短期借入金が3億40百万円、支払手形及び買掛金が1億27百万円、その他に含まれている未払消費税等が1億20百万円、未払法人税等が90百万円、賞与引当金が64百万円、その他に含まれている未払金が63百万円、その他に含まれている預り金が19百万円減少したものの、その他に含まれている未払費用が1億24百万円増加したことによるものであります。

(固定負債)

当第1四半期会計期間末における固定負債の残高は、9億41百万円(前事業年度末は9億31百万円)となり、前事業年度末と比べ9百万円増加いたしました。その主な要因といたしましては、その他に含まれている長期預り金が7百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産の残高は、27億13百万円(前事業年度末は26億91百万円)となり、前事業年度末と比べ22百万円増加いたしました。その主な要因といたしましては、その他投資有価証券評価差額金が12百万円減少したものの、利益剰余金が34百万円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予想情報に関する説明

2022年3月期の通期の業績予想につきましては、2021年5月14日に公表いたしました業績予想から変更しております。詳細につきましては、2021年8月13日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

当社は2021年4月1日より企業会計基準第29号「収益認識に関する会計基準」(2020年3月31日)及び企業会計基準適用指針第30号「収益認識に関する会計基準の適用指針」(2021年3月26日)を適用しております。収益は、顧客との契約で明確にされている対価に基づき、変動対価及び顧客に支払われる対価を考慮して測定し、製品に対する支配が顧客に移転した時点で認識しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当第1四半期会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第1四半期累計期間の損益に与える影響はありません。また、利益剰余金の当期首残高への影響もありません。

なお、1株当たり情報に対する影響はありません。

収益認識会計基準等を適用したため、前事業年度の貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、当第1四半期会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することとしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前事業年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第1四半期累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期財務諸表に与える影響はありません。

3. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2021年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,118,481	2,542,975
受取手形及び売掛金	1,058,554	-
受取手形、売掛金及び契約資産	-	967,429
電子記録債権	65,023	56,085
商品及び製品	46,011	42,122
仕掛品	91,335	63,618
原材料及び貯蔵品	65,520	59,988
未収入金	114,830	76,524
その他	61,923	73,802
貸倒引当金	△1,609	△1,609
流動資産合計	4,620,072	3,880,937
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	331,830	333,176
土地	834,953	834,953
その他(純額)	519,667	641,138
有形固定資産合計	1,686,451	1,809,268
無形固定資産		
その他	36,324	47,671
無形固定資産合計	36,324	47,671
投資その他の資産		
投資有価証券	614,162	598,010
破産更生債権等	4,905	4,905
その他	80,302	63,152
貸倒引当金	△4,905	△4,905
投資その他の資産合計	694,465	661,162
固定資産合計	2,417,240	2,518,102
資産合計	7,037,313	6,399,040
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	529,784	402,571
電子記録債務	484,385	519,095
短期借入金	1,230,000	890,000
一年内返済予定長期借入金	40,512	30,384
未払法人税等	94,935	4,756
役員賞与引当金	-	3,750
賞与引当金	138,123	74,040
その他	896,823	820,145
流動負債合計	3,414,564	2,744,744
固定負債		
長期借入金	313,976	313,976
退職給付引当金	530,336	531,455
その他	87,236	95,648
固定負債合計	931,549	941,079
負債合計	4,346,113	3,685,824

(単位：千円)

	前事業年度 (2021年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2021年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	434,319	434,319
資本剰余金	415,947	415,947
利益剰余金	2,203,076	2,237,407
自己株式	△570,439	△570,439
株主資本合計	2,482,904	2,517,236
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	306,309	293,994
土地再評価差額金	△98,014	△98,014
評価・換算差額等合計	208,294	195,979
純資産合計	2,691,199	2,713,216
負債純資産合計	7,037,313	6,399,040

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)
売上高	1,129,965	1,876,303
売上原価	1,002,071	1,474,536
売上総利益	127,894	401,766
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	118,171	131,764
賞与引当金繰入額	17,681	23,587
退職給付費用	2,847	2,540
役員賞与引当金繰入額	-	3,750
その他	172,200	181,917
販売費及び一般管理費合計	310,900	343,558
営業利益又は営業損失(△)	△183,006	58,207
営業外収益		
受取利息	1	-
受取配当金	5,435	7,170
受取家賃	3,172	2,799
作業くず売却益	1,629	3,197
その他	3,755	2,101
営業外収益合計	13,993	15,268
営業外費用		
支払利息	2,238	2,153
その他	3,334	1,164
営業外費用合計	5,573	3,317
経常利益又は経常損失(△)	△174,585	70,158
特別利益		
補助金収入	35,169	-
特別利益合計	35,169	-
特別損失		
固定資産除却損	-	837
休業手当	36,671	-
助成金返還損	-	12,086
特別損失合計	36,671	12,924
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△176,088	57,234
法人税、住民税及び事業税	△694	2,310
法人税等調整額	△53,971	20,591
法人税等合計	△54,666	22,902
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△121,421	34,331

- (3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。
- (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。
- (5) セグメント情報
当社の報告セグメントは単一であり、報告セグメントの記載を省略しております。
- (6) 重要な後発事象
該当事項はありません。

以 上